

農家住宅に係るニーズ調査の結果概要

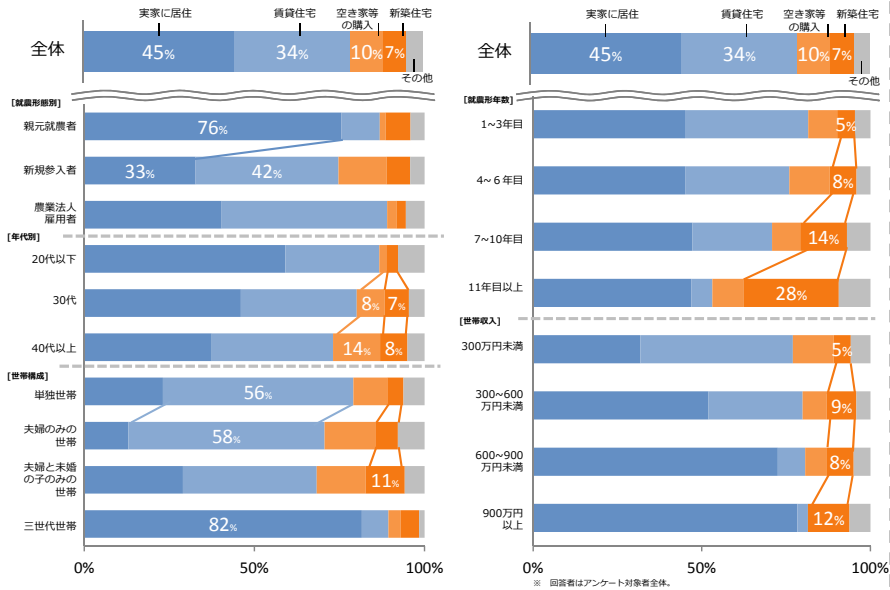
- 農家住宅のニーズの把握のため、農業後継者、特に青年就農者に対して、住宅及び住宅環境に関するアンケート調査を実施。（回答総数2,095件、回答率約9%）
- 新築住宅の購入にあたっての課題は資金確保。新築希望は約6割あり、住宅においては広さや間取り、敷地内においては作業所や倉庫が重視される傾向。

1. 調査概要

1. 調査期間 平成28年10月21日（金）～11月11日（金）
2. 調査対象 青年新規就農者ネットワーク（「一農（いちのう）ネットの登録者」）
登録者数：全体24,084人（平成28年11月8日現在）
3. 調査方法 青年就農者ネットワークのメールマガジンからアンケートを発送
4. 回答総数 2095件（登録者全体の約9%から回答）

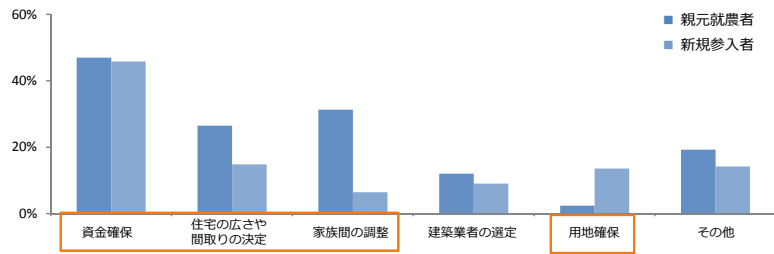
2. 住宅確保の現状

- 親元就農者は実家、新規参入者は賃貸住宅や実家に居住する傾向。
- 年齢が上がるにつれて、新築住宅や購入した空き家等に居住する傾向。単独・夫婦のみの世帯では賃貸住宅、子育て世代では11%が新築住宅に居住する傾向。
- 就農年数が長い世帯や収入が高い世帯は新築住宅に居住する傾向。



3. 新築住宅の購入にあたっての課題

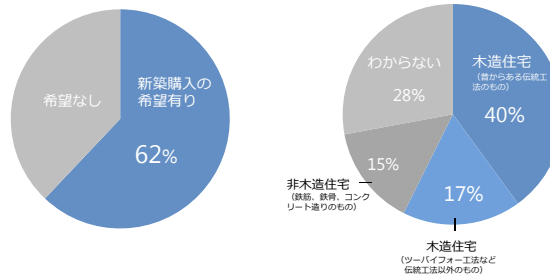
- 資金確保、住宅の広さや間取り、家族間の調整で苦勞する傾向。
- 特に、新規参入者は、用地確保においても苦勞する傾向。



4. 新築住宅に対する意向

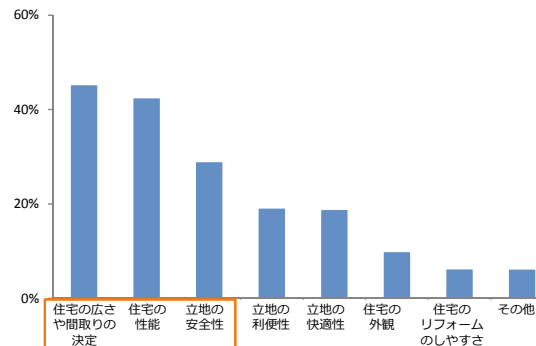
【新築住宅・木造住宅への意向】

- 非持ち家居住者のうち約6割が将来的に新築を希望し、木造住宅も約6割が希望。



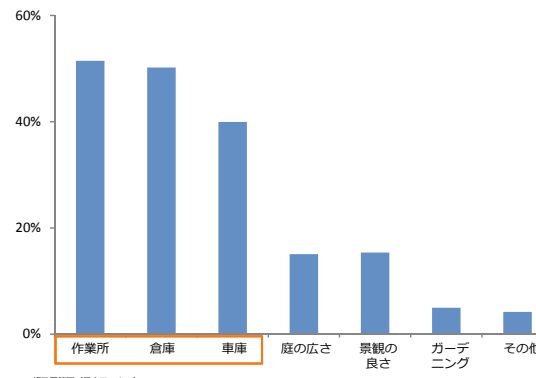
【住宅で重視する点】

- 住宅購入にあたっては、住宅の広さや間取り、住宅性能、立地の安全性を重視する傾向。



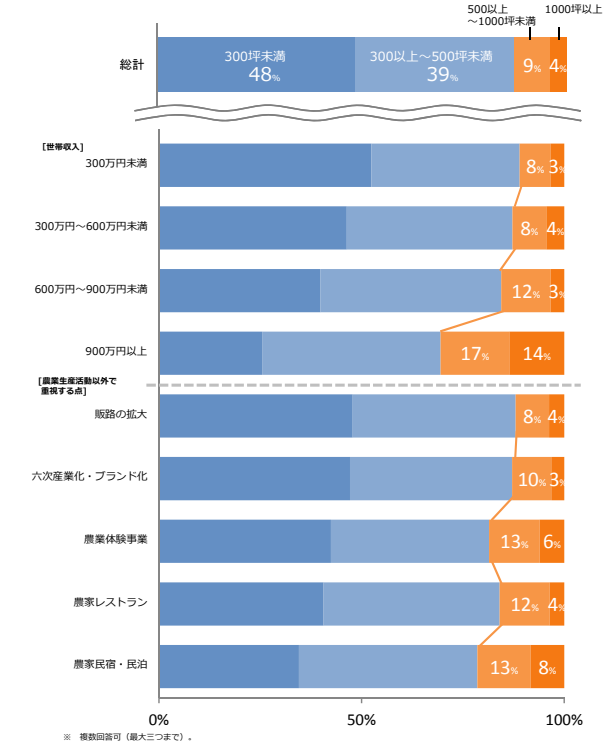
【住宅以外の敷地内の要素で重視する点】

- 敷地内の要素としては、作業所、倉庫、車庫を重視する傾向。



【敷地面積の希望】

- 世帯収入が高いほど広い敷地を希望する傾向。農家民泊・民宿、農業体験、農家レストランを重視する場合、広い敷地を希望。



【住宅立地で重視する点】

- 自然災害への安全性、通勤・通学に便利な立地を重視する傾向。

